

【研究テーマ】

□ **スポーツ・インテグリティ教育の理論的・実践的研究**

キーワード：スポーツ・インテグリティ、スポーツ倫理、アスリート、オリンピック・パラリンピック

静岡大学現代教育研究所 スポーツ・インテグリティ教育プロジェクト

スポーツ界では「スポーツ・インテグリティ」の確立が重要な課題となっており、競技界及び競技者・指導者に高い倫理観と行動基準を定着させ、不正行為が未然に抑止されるような取組の強化が図られています。その一方で、スポーツ・インテグリティ教育の教材開発、教育手法、カリキュラム構築は計画途上の段階にあると言われており、教育・学習理論の知見に即した教育プログラムの開発・普及が急がれてきました。本研究所では、スポーツ全般を対象として、競技者及び指導者に向けた自律的・倫理的思考の強化・促進に資する教材及びプログラム開発を進めています。その成果の一部として、競技団体やスポーツ協会の指導者を対象とした「スポーツ・インテグリティ」に関する研修会やシンポジウムを開催してきました。今後も教材及び教育プログラムの開発・実践を重ねながら、競技団体との連携を深めつつ、プログラムに対する評価検証を重ね、より汎用性の高い教育実践の普及を図ります。

研修内容	
13:00-13:10	開会挨拶
13:10-13:55	スポーツ・インテグリティ・ワークショップ スポーツの倫理を考えるアクティブラーニング教材
14:05-14:50	スポーツ・インテグリティ・基礎理論 インテグリティとは何かを倫理的観点から問い直す
15:00-15:45	スポーツ・ハラスメント・ワークショップ 自衛を目的としたリスクと向き合い方
15:55-16:40	スポーツ・リスクマネジメント 競技スポーツにおける「リスクの認識」を共有する
16:40-17:00	閉会挨拶

研修スケジュール



オンライン研修の様子

本研究所では、教育学、倫理学、心理学、スポーツ科学などさまざまな専門家が協働して、学際的な知見に基づく新たなスポーツ・インテグリティ教育の教材開発・プログラム提供を行ってきました。2020年度より、これまでの研究成果を生かして、研修会やシンポジウムの開催や教材集及び書籍を出版し、指導者やスポーツ関係者への啓発活動を進めています。競技者だけでなく、日本オリンピック委員会や日本卓球協会など複数の競技団体の組織関係者とも意見交換を重ねることで、トータルかつインクルーシブな取組を目指しています。今後は地域のスポーツ団体に加えて、海外の専門家とも連携を図り、ポスト東京2020における持続可能なスポーツ文化の振興と発展に貢献していきたいと考えています。



スポーツ・インテグリティに関する書籍

プロジェクト研究所 所長



藤井 基貴

学術院教育学領域
学校教育系列
准教授

■ **研究所メンバー（客員含）**

- ・ 藤井基貴 (教育)
- ・ 山本隆太 (学環)
- ・ 大木聖子 (慶應大)
- ・ 中村美智太郎 (教育)
- ・ 井柳美紀 (人文)
- ・ 加藤弘通 (北海道大)
- ・ 塩田真吾 (教育)
- ・ 吉田和人 (順天堂大)
- ・ 村越真 (教育)
- ・ 園田正世 (東大院)

■ **相談に応じられる関連分野**

- ・ スポーツ・インテグリティ教育
- ・ 防災・リスク教育
- ・ SDGs教育

